

令和6年度子どもの体験活動事業補助金について

将来を担う子どもたちが、体験活動を通して仲間や地域の人と楽しく幸せな時間を過ごし、豊かな人間性や社会性を身につけ、また、どの家庭も地域の中で孤立することなく安心して過ごせる機会をつくることを目指し、子どもの体験活動を実施する団体及びグループに補助金を交付

【補助対象事業】

- ①参加対象 参加者を公募することにより、小学生から中学生までの子どもたちが自発的に参加することができ、自由にご参加いただける体験活動を提供するもの。
- ②活動場所 岩見沢市内の概ね中学校区とすること。
- ③実施頻度 年間2回以上の活動であること。
- ④活動時間 1回あたり概ね2時間以上であること。
- ⑤実施体制等
  - ア 概ね10人以上の子どもを受け入れられる体制を整えること。
  - イ 保険に加入するなど、子どもや事業従事者の安全に努めること。
  - ウ 食事の提供を行う活動にあたっては、保健所に相談し、食品衛生に関する指導・助言などを求めること。
  - エ 個人のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報の機密保持に努めること。
  - オ 年度途中で進捗状況を報告すること。

【補助対象者】

市内で子育て支援ならびに青少年育成の活動をしているか、予定している団体及びグループ（3人以上）であること。

【補助金額】

1事業当たり、10万円を限度とし、最大3か年継続可能。令和6年度の予算額は50万円

令和6年度子どもの安全と安心に関する専門部会の結果

【第1回】

開催日時  
書面開催

会議の趣旨

第2期岩見沢市子ども・子育てプランに位置づけた「子どもの体験活動の支援」の令和6年度の実施に当たり、昨年度の成果と課題を踏まえ、「岩見沢市子どもの体験活動事業補助金募集要項案」並びに審査実施要領案について協議。

【第2回】

開催日時  
令和6年5月27日18:00～19:40 であえる会議室1

会議の趣旨

募集要項をもって5月1日から17日までに申請があった案件を審査、選定。あわせて、活動に当たっての留意点を協議

選定結果

6団体を選定し、申請額又は予算額10万円を上限として、事業計画に基づき補助金額を決定

令和6年度地域子ども体験活動補助金対象事業

補助事業名	主催団体 開催場所	活動目的・内容	開催予定	補助事業名	主催団体 開催場所	活動目的・内容	開催予定
① びかびかどらごをつくろう (補助3回目)	北海道光る泥だんご同好会 児童館、生涯学習センター	光る泥だんごづくりを通じて、子どもの集中力や失敗から学ぶ経験、試行錯誤や達成感の獲得を目指す。体験活動により協調性や創造性を向上し、マスター認定書を発行することで子どもの達成感獲得を図る。市内児童館を中心に活動予定。	全3回 9:30～12:00 10人/回	④ 夏祭り・焼き芋大会 (新規事業)	SMILEプロジェクト 北真小学校グラウンド	地域社会における子どもの心身の健全な育成を図ることを目的としてイベントを開催し、子どもたちと地域の方々がふれあう機会を創出する。 夏祭り(8月) 焼き芋大会(10月下旬～11月上旬)	8月 10月下旬～11月上旬
② フルーツバスケット遊ぼう会 (補助2回目)	フルーツバスケット 市内の公共施設や公園等	小・中学生の共生社会に向けた交流として、障がい児も含めた共に楽しむ居場所を作る。 屋外・屋内問わず、外遊びや縁日、こども食堂、ものづくり体験等、楽しい遊びや交流を企画・開催する。 優癒ハート、合同会社こんぱすのほか、児童館、光が丘学園との協力依頼	年10回程度 40人/回	⑤ Pleigo (プレイゴ) (新規事業)	J and H ばら園・色彩館、山崎ワイナリー他	遊びながら英語を使い、子どもたちが自信やグローバルな視野を持ち、成長していく中で、地域に還元していくことのできる子どもを育てる。 デイキャンプを行い、スタンプラリー、水遊び、ランチ、工作、焚火体験などを予定	年5回 10:00～14:00
③ 体を動かす遊びにチャレンジ (補助2回目)	岩見沢市日の出サッカー少年団 日の出小学校体育館、市内公園	外遊びや道具を使ったさまざまな遊び、ボール運動の場を提供し、基礎体力・運動能力・学習能力の向上や、さまざまな人と接し、人間性・社会性の向上と遊び方について考え動く力を養う。 水鉄砲、鬼ごっこ、ボール運動、リレー遊び等	月1回～2回程度	⑥ みそのジョブズ～いろいろな職業を体験しよう～ (新規事業)	美園小区子ども育成連絡協議会 美園小学校体育館、グラウンド 各地区公園等	光陵中学校区で生活する児童生徒が、新しい時代に必要となる資質・能力を身に付けたり、将来に見通しをもったりするため、「学校」「地域」「子ども」が一体となった事業を展開し、「地域ぐるみで子どもを育てる」意識の醸成を図るため職場体験を実施し、子どもたちが自らの意志で行動し、自発的に学ぶ楽しさを実感してもらおう。	年2回